



キャリオ商事株式会社  
代表取締役社長

富田 茂氏

## 3次元CADをKEYに 新しい技術ビジネスモデルを 提案する最先端の技術者集団。

### ■会社プロフィール

キャリオ商事株式会社

【設立】1997年 【資本金】1190万円 【グループ総資本金】1500万円 【従業員数】17名 【事業内容】次世代車両・産業機械等のユニット設計総合請負(機械・制御・ソフト) TEL: 052-454-0495  
名古屋市中村区丸山2-6-16 大升ビル ZIP: 450-0013  
【URL】 [www.calio.co.jp](http://www.calio.co.jp) [E-mail]info@calio.co.jp

事業、技術ビジネスモーデリング事業、技術系アウトソーシング事業、3次元デジタルエンジニアリング事業、技術ビジネスモーデリング事業の3事業が同社の主要事業。他に真似のできない同社ならではのユニークな制度や人材観について、同社社長の富田氏にお話を伺った。

「まず、技術系アウトソーシング事業では、より多くの技術者をお客様とともに育てていく環境づくりを続けています。新米の技術者でも即実績を残せるようにわかりやすい技術マニュアルを作ったり、自信の持てる環境を用意したり。

2002年度は数十人規模のプロジェクトをお客様と用意しています。2つ目の3次元デジタルエンジニアリング事業は3次元CADシステムによる誰にでもわかりやすい設計と開発を徹底して継続したいと思っています。設立以来弊社で取り扱うCADは6種類。技術者には全部とはいわなくとも複数種類は経験・鉛筆替わりに扱えます。これまでになっています。そして3つ目が技術ビジネスモーデリング事業。「これは、ひらめきを事業化し、支援、価値創造を認めていこう」というもの。2002年度は新規特許技術分野での買収から基礎技術の開発までを手掛けていきたいと思っています。たとえば3次元CADで表したイメージを金属造形する事業を他社に先駆けて開発。これは3次元金属ラビッドプロトタイピングというのですが、このほかにも各お客様の得意分野を組み合わせることによって新事業や新生産ラインの立ち上げを提案。その中で弊社の役割を果たしている

「こうと思っています。」

知的創造における価値創造の分業を担っていきたいという同社。技術者にとっても、お客様である企業にとっても全く新しいカタチの価値創造を提案する企業である。「技術者の独立支援も行っています。技術者が利潤と社会性のある事業を行うことが日本の製造産業を支える種になると思うから。設立後はグループとして助け合いながら上場を目指したいですね」

中部地区を中心に技術サポート

社で取り扱うCADは6種類。技

術者には全部とはいわなくとも複数種類は経験・鉛筆替わりに扱えます。これまでになっています。そして3つ目が技術ビジネスモーデリング事

業。「これは、ひらめきを事業化し、支援、価値創造を認めていこう」というもの。2002年度は新規特許技術分野での買収から基礎技術の開発までを手掛けていきたいと思っています。たとえば3次元CADで表したイメージを金属造形する事業を他社に先駆けて開発。これは3次元金属ラビッドプロト

タイピングというのですが、このほかにも各お客様の得意分野を組み合わせることによって新事業や新生産ラインの立ち上げを提案。その中で弊社の役割を果たしている

「こうと思っています。」

知的創造における価値創造の分業を担っていきたいという同社。技術者にとっても、お客様である企業にとっても全く新しいカタチの価値創造を提案する企業である。

「技術者の独立支援も行っています。技術者が利潤と社会性のある事業を行うことが日本の製造産業を支える種になると思うから。設立後はグループとして助け合いながら上場を目指したいですね」